



### 新井家光 (あらいいみつ)

深谷市原郷在住  
昭和30年5月5日生まれ(50歳)

#### 主な経歴

- 昭和49年3月 県立熊谷高校卒業
- 昭和55年3月 帝京大学医学部卒業
- 平成7年4月 埼玉県議会議員就任
- 平成11年2月 旧深谷市長就任
- 平成18年2月 深谷市長就任

## 新「深谷市」の初代市長が就任しました

### 就任あいさつ

この度、市民の皆様のご支援により、初代深谷市長に就任いたしました。改めて、その責任の重さを痛感し、新市のまちづくりに全力で取り組んでまいります。決意を新たにしているところでございます。

深谷市・岡部町・川本町・花園町の合併により誕生した新「深谷市」は、雄大な自然に恵まれるとともに、農業・工業・商業の均衡の取れた産業を有し、人と自然の共生する都市としてさらなる発展が期待されております。

私は、旧市町の歴史、文化、産業、自然を大切に引き継ぎ、この地域の魅力をさらに磨くことにより、新市の将来都市像である「笑顔にあふれ活力を創出するしあわせ市民都市」の実現に向けて全力を傾注してまいります。

市民の皆様におかれましては、引き続き市政進展にあたたかいご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



新しい市章の発表

# 深谷市誕生 記念式典を挙行

3月5日、深谷市民文化会館で「深谷市誕生記念式典」が開催されました。式典には県知事、国会議員をはじめ、招待者約1,000人が出席し、新「深谷市」の誕生を盛大に祝つとともに、さらなる発展を誓いました。

式典で新井市長は、「『次代を担う子どもたちを育てること』、『地域の伝統と自然を守り、育てること』、『公正・公平・公開の市政運営を進めること』の3点を市政運営の基本理念とし、勇気と信念を持って市政進展に邁進してまいりたい」と式辞を述べました。

その後、総務大臣から旧1市3町の市長・町長に対して合併功労者表彰状が贈られたほか、



友好都市提携協定書に署名する、左から新井深谷市長、井口南魚沼市長、井田岡部町長、上机田野畑村長

元合併協議会委員ならびに監査委員に新井市長から感謝状が贈呈されました。  
また、全国公募により決定した新「深谷市」の市章の発表と、新潟県南魚沼市、静岡県岡部町、岩手県田野畑村との友好都市提携も併せて行われました。



深谷青年会議所の主催で作られた「新深谷市 2006」の人文字。新市の人口の約1%、1,480人が参加しました

## アトラクションで披露された深谷市の郷土芸能



### 重忠太鼓保存会

保存会は畠山重忠公の遺徳をしのび後世に伝えるため昭和63年に結成。重忠公の生涯を表現した、力強い太鼓が披露されました。



### 本郷獅子舞保存会

本郷地区に伝承された獅子舞で、毎年7月と10月、藤田神社に奉納されています。「雨乞い獅子」とも呼ばれる舞が演じられました。



### 小前田上町屋台獅子保存会

小前田地区に伝わる祭りばやしで、毎年10月上旬、諏訪神社に奉納されています。にぎやかな祭りばやし会場を盛り上げました。



### 内ヶ島万作踊り保存会

「手踊り」と「段物」を伝え、「段物」とは手踊りと芝居の要素を持つものです。歌や踊りを含む寸劇に、拍手喝さいが送られました。

- 【合併協議会委員】
- 倉上征四郎 柿澤源八 小林徳秋
  - 福田 小島進 故柴崎定春 橋本設世 平野三夫 青木恒治 黒沢要 永田勝彦 松本光政 倉上由朗 内田茂 小森秀夫 宇多村春恵 小嶋隆 田島信吉 内田健
- 【合併協議会監査委員】
- 田嶋義介 舎利弗孝雄 (敬称略・順不同)

- 【合併功労者表彰(総務大臣表彰)】
- 新井家光(旧深谷市長)
  - 神尾高善(旧岡部町長)
  - 故小川重雄(旧川本町長)
  - 馬場一雄(旧川本町長)
  - 柳雅己(旧花園町長)
  - 市長感謝状贈呈
- 【合併功労者表彰(総務大臣表彰)】
- 司 市川誠一 栗原征雄 北本政夫 原口博 柳田慶治 須藤邦男 田嶋均 大澤一孝 井上勇司 吉野茂男 新井恵明 松本政義 酒井貴久代志 飯嶋悌二 清水肇 下妻僚 大谷富美子 井上隆夫 井上尚男 坂田秋雄 小暮功子 中村一夫 飯野実 松本博之 田中富子 田島正五郎 安田碩茂 宇野了 市川素一 沼尻孝子